

プログラム

1日目 (2026年2月21日[土])

第1会場 能楽ホール

- 9:00 ~ 9:05 ■開会式 ●挨拶: 木村 文則 (奈良県立医科大学 産婦人科学講座 教授)
- 9:05 ~ 9:15 ■会長講演「原点に戻る ~がん治療および生殖医療の発展と多職種協働を見つめなおす~」
●座長: 高井 泰 (埼玉医科大学 総合医療センター 産婦人科 教授)
●演者: 木村 文則 (奈良県立医科大学 産婦人科学講座 教授)
- 9:15 ~ 9:45 ■基調講演「日本がん・生殖医療学会の「今まで」と「これから」」[supported by 赤崎クリニック]
「日本がん・生殖医療学会の成熟と今後の展望」
●座長: 吉村 泰典 (慶應義塾大学 名誉教授) ●演者: 古井 辰郎 (岐阜大学医学部附属病院 周産期・生殖医療センター 教授)
- 9:45 ~ 10:15 ■指定講演「地域のがん生殖医療を実践する体制・医療者をどのように育てたか」[supported by 赤崎クリニック]
「滋賀県における Oncofertility の潮流」
●座長: 森重 健一郎 (大阪急性期・総合医療センター 生殖医療センター長)
●演者: 村上 節 (滋賀医科大学 名誉教授)
- 10:15 ~ 10:20 休憩
- 10:20 ~ 11:05 ■優秀演題候補演題 - 口演発表I① ●座長: 杉下 陽堂 (田園都市レディースクリニック 副院長)
吉原 雅人 (名古屋大学大学院 医学系研究科・産婦人科学講座 病院講師)
- 11:05 ~ 11:10 休憩
- 11:10 ~ 11:50 ■優秀演題候補演題 - 口演発表I② ●座長: 石川 智則 (東京医科歯科大学大学院 茨城県小児・周産期地域医療学 准教授)
山田 有紀 (奈良県立医科大学 産婦人科学講座 学内講師)
- 11:50 ~ 13:30 休憩
- 13:30 ~ 14:10 ■当学会の啓発の取り組み~ Medical Upfront message For Girls and women (MUFUG) プロジェクト~
●座長: 梶山 広明 (名古屋大学大学院 医学系研究科 産婦人科 教授)
「女性のがん予防促進プロジェクトの経過と今後の展開」 ●演者: 上田 豊 (和歌山県立医科大学 先進予防・健康医学講座 教授)
「健康行動の文化を創出するプラットフォーム
— 医療を「診療の外へ」拡張する取り組み—」 ●演者: 清水 裕介 (藤田医科大学 産婦人科学教室 講師)
「なぜ正しい説明だけでは届かないのか。
~伝え方、伝わり方について考える~」 ●演者: 土橋 通仁 (株式会社 電通 中部オフィス クリエイティブディレクター/
アートディレクター/ゼネラルマネージャー)
質疑応答
- 14:10 ~ 14:15 休憩
- 14:15 ~ 14:45 ■特別講演「JOFR の意義と展望」[supported by 赤崎クリニック]
●座長: 大須賀 穰 (東京大学 名誉教授 帝京大学 臨床研究センター センター長)
●演者: 原田 美由紀 (東京大学大学院 医学系研究科 産婦人科学講座 教授)
- 14:50 ~ 15:30 ■日本がん・生殖医療学会認定ナビゲーター制度 教育講演 [supported by 久永婦人クリニック]
●座長: 森本 義晴 (IVF JAPAN CEO HORAC グランフロント大阪クリニック 院長)
「がん・生殖医療を担う医療機関に求められる」 ●演者: 小野 政徳 (東京医科大学 産科婦人科学教室 教授)
「認定がん・生殖医療ナビゲーター制度」の役割と展望
「抗がん剤の性腺毒性に関する最近の話題」 ●演者: 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 主任教授)
- 15:30 ~ 15:35 休憩
- 15:35 ~ 17:05 ■Oncofertility Consortium Japan Meeting 2026「OCJpn のあゆみと公的助成の実態から地域格差を考える」
[supported by 医療法人平治会]
●座長: 古井 辰郎 (岐阜大学医学部附属病院 周産期・生殖医療センター 教授)
多田 雄真 (大阪国際がんセンター血液内科 AYA 世代サポートチーム 医長)
「JOFR からみる地域格差と埼玉県の現状」 ●演者: 重松 幸佑 (埼玉医科大学国際医療センター 婦人科 腫瘍科 助教)
「愛媛県のがん・生殖医療の実態」 ●演者: 安岡 稔晃 (愛媛大学医学部附属病院 産婦人科 助教)
「全国ワークショップによる地域格差改善への取り組み」 ●演者: 立花 眞仁 (東北大学大学院 医学系研究科 周産期医学分野 准教授)
総合討論 ●ディスカッサント:
重松 幸佑 (埼玉医科大学国際医療センター 婦人科 腫瘍科 助教)
安岡 稔晃 (愛媛大学医学部附属病院 産婦人科 助教)
立花 眞仁 (東北大学大学院 医学系研究科 周産期医学分野 准教授)
伊東 雅美 (富山大学附属病院 産科婦人科 診療講師)
圓崎 夏美 (宮崎市医師会病院 産科婦人科 医員)
齊藤 亜由美 (国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 医員)
- 第2会場 レセプションホール1
- 12:10 ~ 13:10 ■エグザクトサイエンス株式会社共催ランチョンセミナー
「乳がん薬物療法とがん・生殖医療 2026 ~オンコタイプ DX® が導く「納得のいく選択」と 生殖医療連携の重要性~」
●座長: 小泉 圭 (浜松医科大学医学部附属病院 乳腺外科 助教・病院講師)
●演者: 田村 宜子 (虎ノ門病院 乳腺・内分泌外科 医長)
- 13:30 ~ 13:58 ■一般演題 - 口演発表II①妊孕性温存1 ●座長: 片桐 由起子 (東邦大学 医学部 産科婦人科学講座 教授)
- 14:03 ~ 14:45 ■一般演題 - 口演発表II②妊孕性温存2 ●座長: 脇本 裕 (兵庫医科大学 医学部 産科婦人科学講座 講師)
- 14:50 ~ 15:32 ■一般演題 - 口演発表II③地域連携体制と専門職による人的支援 ●座長: 堀江 昭史 (北野病院 産婦人科 主任部長)
- 15:37 ~ 16:19 ■一般演題 - 口演発表II④妊孕性温存3 ●座長: 馬場 剛 (札幌医科大学 医学部 産婦人科学講座 病院教授)
- 16:24 ~ 16:59 ■一般演題 - 口演発表II⑤がん・生殖医療のアウトカムと周産期予後 ●座長: 桂木 真司 (宮崎大学 医学部 産婦人科 主任教授)

2 日目 (2026年2月22日[日])

第1会場 能楽ホール

- 9:00 ~ 10:30 ■看護・薬剤師・心理士部門・サイコソーシャルケア委員会合同セッション【supported by 医療法人双葉会 富雄産婦人科】
- 座長：渡邊 知映(昭和大学 保健医療学部 教授) / 米村 雅人(国立がん研究センター東病院 副薬剤部長)
 - 「がん治療後も当事者が抱く妊孕性への不確実性」 ●演者：小泉 智恵(獨協医科大学埼玉医療センター国際リプロダクションセンター 病院講師)
 - 「血液がん治療開始後の生殖に関する継続的アプローチ
— 看護師の立場から」 ●演者：安宅 大輝(東邦大学医療センター大森病院 生殖看護認定看護師)
 - 「過去のがん薬物療法と妊娠・出産への相談支援
— 薬剤師の立場から」 ●演者：日置 三紀(滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 病棟業務支援室長)
 - 「がん治療後のプレコンセプションケア
— 産婦人科医の立場から」 ●演者：片桐 由起子(東邦大学医学部 産科婦人科学講座 教授)
 - 「がん治療後の岐路・その後の人生を考える時
— 心理士の立場から」 ●演者：橋本 知子(IVF なんばクリニック 臨床心理士/生殖心理カウンセラー/がん・生殖医療専門心理士)
- 総合討論
- 10:30 ~ 10:40 休憩
- 10:40 ~ 11:40 ■フェリング・ファーマ株式会社共催スポンサードセミナー「胚・卵子凍結する際の実践」
- 座長：桑原 章(レディースクリニックコスモス 院長)
 - 「生殖補助医療 一当院の取り組み」 ●演者：塩谷 雅英(英ウイメンズクリニック 理事長)
 - 「がん・生殖医療における効果的な多職種連携のために」 ●演者：斎藤 和毅
(東京科学大学大学院 茨城県小児・周産期地域医療学講座 助教)
- 11:40 ~ 13:15 休憩
- 13:15 ~ 14:05 ■乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 2026 年改定版出版に向けて — 公開パブリックコメントセッション—
【supported by 三橋仁美レディースクリニック】
- 座長：田村 宜子(虎ノ門病院 乳腺・内分泌外科 医長)
 - 「乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン改訂について 乳癌領域」 ●演者：小泉 圭(浜松医科大学医学部附属病院 乳腺外科 助教・病院講師)
 - 「乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン改訂について 生殖領域」 ●演者：高江 正道(聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授)
- 14:05 ~ 14:15 休憩
- 14:15 ~ 15:35 ■胚培養士 長期保管セッション【supported by ASKAレディースクリニック】
- 座長：沖村 匡史(加藤レディースクリニック 培養部 部長) / 菊池 裕幸(仙台 ART クリニック マネージャー)
 - 「本邦における凍結保存タンク管理の現状と課題」 ●演者：水野 里志(IVF 大阪クリニック 生殖技術部門 技師長)
 - 「当院の凍結検体の保存期間更新システムについて」 ●演者：中野 達也(IVF なんばクリニック 生殖技術部門 技師長)
 - 「妊孕性温存検体の凍結更新の現状と課題」 ●演者：宮本 若葉(京野アートクリニック仙台 胚培部 サプリダー)
- 15:40 ~ 15:50 ■最優秀演題表彰 & 次期会長挨拶 & 閉会式
- 15:50 ~ 16:30 ■年次総会

第2会場 レセプションホール1

- 9:00 ~ 9:42 ■一般演題 - 口演発表Ⅱ⑥症例報告 ●座長：太田 邦明(川崎医科大学産婦人科学 特任准教授)
- 9:50 ~ 10:32 ■一般演題 - 口演発表Ⅱ⑦妊孕性温存4 ●座長：湯村 寧(横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター 臨床教授)
- 10:40 ~ 11:22 ■一般演題 - 口演発表Ⅱ⑧支援資材の開発と意識調査 ●座長：筒井 建紀(JCHO大阪病院 産婦人科 診療部長)
- 12:00 ~ 13:00 ■武田薬品工業株式会社共催ランチョンセミナー「男性妊孕性温存セッション」
「尿路上皮癌および腎細胞癌の診療の底上げ：妊孕性に留意すべき薬剤について」
- 座長：山崎 俊成(神戸市立医療センター中央市民病院 泌尿器科 部長)
 - 演者：三宅 牧人(奈良県立医科大学 泌尿器科学講座 准教授)
- 14:00 ~ 16:00 ■市民公開講座